

平成18年2月秋田市議会定例会代表質問者順序

秋 水 会 高 橋 智 徳

市 民 ク ラ ブ 相 場 金 二

社 会 ・ 市 民 連 合 宇 佐 美 洋 二 朗

フ ォ ー ラ ム 2 1 芦 田 晃 敏

共 産 党 加 賀 屋 千 鶴 子

公 明 党 堀 井 明 美

## 1 豪雪対策について

- (1) 初期対応として、豪雪対策本部設置の経緯、幹線道路排雪の判断時期、幹線道路排雪にかかった日数はどのようになっているのか
- (2) 今回の降雪は地域によって格差がかなりあったのか、また、格差があったとすればそれらに対する対応はどのようにしたのか
- (3) 業者に対する苦情はかなりあったと思われ、業者によって格差があったとの声を聞いているが、それは除排雪業者との契約内容を時間制に変更したことによるものなのか、また、今後契約内容の見直しを考えているのか、さらに、オペレーターの技術力アップのため競技会等の開催を考えるべきではないか
- (4) 除排雪機材の増強については、市では18年度、小型ロータリー8台を購入、グレーダ、ロータリー各1台を県から払い下げの予定であるが、業者においては、いつ、どれだけ降るかわからない状況では機材や人員を増強するのは難しいと思われることから、民間業者が機材等の増強が図れるよう、市が助成するなどの方策を考えるべきではないか
- (5) 独居老人住宅等の除雪については、職員、消防団、自衛隊等の方々が大変難儀したが、自衛隊が実施した件数を100件程度にした根拠は何か、また、どのような状況の場合、職員、消防団、自衛隊等による除雪対象になるのか説明不足であったと思われるが、今後それらの基準を十分市民に知らしめるべきと思うがどうか
- (6) 除排雪に関するボランティアの育成、市民・企業の協力体制をどのように考えているのか
- (7) 除雪によって狭隘になった道路について、一時的に一方通行とすることは考えられないか
- (8) このたびの排雪で一番問題になったのは雪捨て場が少なかったことであり、場所の確保が難しいことから、すべての川というわけにはい

かないが、状況を見ながら川への排雪を考えるべきではないか、また、堆雪場の雪の処理をいつごろまでと考えているのか、さらに、堆雪場の原状回復についての対応はどのようになっているのか

## 2 財政について

- (1) 16年度からの3カ年で4兆円を超える国庫補助負担金が廃止され、地方交付税は臨時財政対策債と合わせて約5兆円が抑制されるとのことであるが、具体的な本市への影響はどのようになるのか
- (2) 豪雪による特別交付税等は今後の復旧工事を含めどのくらいと想定しているのか
- (3) 豪雪対策として取り崩した基金の種類と金額は、どのようになっているのか

## 3 中通一丁目地区市街地再開発事業について

- (1) 秋田商工会議所が主催した「中央街区事務連絡会議」について
  - ア 「中央街区事務連絡会議」の目的、各関係機関における位置づけはどうなっているのか
  - イ 行政側からも、秋田商工会議所等に対し、中央街区のにぎわい創出に向けた秋田駅前商店街振興組合、広小路商店街振興組合、仲小路振興会、中央通り商店街振興組合等の主体による「(仮称)中央街区活性化推進会議」開催の要望をしてはどうか
  - ウ 県・市のまちづくりにおける歴史的一大プロジェクトとして是が非でも成功に導く観点から、重要なファイナンス部門を担う金融機関に対しても「(仮称)中央街区活性化推進会議」への出席を要請し協力を仰ぐことが必要不可欠と考えるがどうか
- (2) 準備組合の事業計画素案について
  - ア 事業計画素案に対する市長の率直な感想・意見はどうか、また、事業の成立性・実現性は高まってきているのか
  - イ 現時点における課題は何か、また、管理運営法人の企画運営能力

や、金融機関からの資金調達、テナントの確実性等の課題はクリアされているのか

ウ 近年の他都市の再開発事業と比べてみた場合、管理運営法人が負うリスクは過大とならないか

エ 居住施設として200戸が新たに計画に追加されているようであるが、マンション建設ラッシュと言われるほどマンションが建設されている中で、その販売等の見通しはあるのか

(3) 仲小路について、歩行者の回遊性強化の観点から、歩行者重視の空間としてモール化が検討されているようであるが、その具体的内容と実現性はどうか

#### 4 敬老会補助事業の見直しについて

(1) 敬老会補助金の削減はどのような理由によるのか

#### 5 既存住居地域の商店閉鎖について

(1) 御所野地区への商店の拡大に歯どめをかけるべきではないか

(2) 各地区のスーパー等の閉店による高齢者対策の考えはあるのか

#### 6 秋田駅周辺の諸課題について

(1) 市民サービスセンター利用者の駐車料金を無料にする考えはないか

1 市長の政治姿勢について

- (1) 豊かさを実感する市政の確立について
- (2) 自治体制度改革における本市の助役、収入役の位置づけについて
- (3) 市長コメントの自己評価について

2 安全・安心の現状と今後の対応について

- (1) 国民保護法の目的と本市の体制について
- (2) 安全確保における本市のシステムと機能について
  - ア 本市の建築確認業務は適切に行われているのか
  - イ 民間確認検査機関の確認業務について、市が指導監督できないのか
  - ウ 市が発注する土木工事等の審査と検査について
- (3) 本市防災の実情について
  - ア 地震、風水害、雪害、道路について
  - イ 国・県など関係機関との連携について
- (4) 防災士資格者の現状と養成計画について
- (5) 本市における防災力の自己評価について

3 財政について

- (1) 三位一体改革における地方財政計画の見通しについて
- (2) 18年度予算案の特色について
- (3) 秋田市総合計画における実施計画の推進に当たり、各種基金の残高に心配はないのか

4 指定管理者制度の導入について

- (1) 指定管理者制度導入による成果をどのように見込んでいるのか、また、マイナス要素をどう見ているのか

(2) 導入施設の管理及びサービス等の検証と指導システムについて

5 秋田市しあわせづくり市民意識調査について

(1) 市民意識調査による市民意向の特色について

6 福祉保健について

(1) 高齢者の支え合い福祉の充実について

ア 在宅介護支援事業について

イ 敬老会補助事業について

ウ 高齢者バス優遇乗車助成事業について

(2) 障害者自立支援法の施行に伴う市の対応について

(3) 秋田市地域福祉計画の推進で地域格差が出ないのか

(4) 特別養護老人ホームへの待機者の現状と施設整備計画について

(5) 介護予防の現状と市独自のメニューはないのか

(6) 県のこども総合支援エリア（仮称）構想で市はどのような立場なのか

7 中心市街地のまちづくりについて

(1) イトーヨーカドー秋田店及びほんきん西武の存続の要件について

ア 秋田市駐車場公社の駐車場料金を減額するようであるが、駐車場公社の経営に影響はないのか

イ 存続による効果はどうか、また、波及効果はどうか

ウ 県有地での暫定駐車場計画に対して同業者から異議が唱えられていることについて、どのように考えているのか

(2) 日赤・婦人会館跡地の再開発について

ア 歴史・文化施設等の公共公益施設がリードすることになるのか

イ 準備組合が作成したプランにある「歴史と文化のにぎわいのシンボルとなる『県都の顔』づくり」について、市長の印象はどうか

ウ 「協議機関による事業の推進を図る」とあるが、見通しはいつごろなのか

## 8 教育について

- (1) 分権改革に伴い地方自治体による学校教育はどう変化すると考えているのか
- (2) 教員評価システムの導入について、どのようにとらえているのか
- (3) 「総合的な学習の時間」の評価と今後の対応について、どのように考えているのか
- (4) 家庭教育における父親の役割について
- (5) 学校及び通学路における安全確保の現状と危険回避のためのシステムについて

## 9 商工業政策について

- (1) セリオンの公設化とセリオンリスタとの一体的活用について
- (2) 策定中の秋田市観光振興計画における民力の啓発について
- (3) 特別雇用対策について
  - ア 地域雇用創造支援事業計画について

## 10 交通事業について

- (1) 本市の公共交通体系（バス）の方向性について
- (2) 秋田市バス交通運営協議会での協議の主な内容について
- (3) バス事業の終焉に際して管理者の心境はどうか

## 11 農業振興について

- (1) 秋田市農林水産業・農村振興基本計画の推進について
  - ア 本市基本計画と国の集落営農担い手育成支援対策とは、一体的に推進することになるのか
  - イ 国の集落営農担い手育成支援対策は、18年度においてどこが主体

となり推進するのか

- ウ 集落営農等の推進における県の支援計画への本市の対応はどうか
- (2) 食糧、農業の推進に当たっては、農業の現状についての市民理解を図る工夫をすべきではないか
- (3) 地産地消の推進に当たっては、直売所等の施設整備及び販売システムのレベルアップを図るべきではないか

1 今冬の豪雪対策について

(1) 除排雪機材等について

ア 常時出動できる機材は何台だったのか

イ レンタル、リース会社を含め、市内の契約業者以外の機材の保有台数を把握していたのか、また、それらの業者と追加契約をしたのか

ウ 除排雪作業が比較的容易な市郊外や河辺、雄和地域の契約業者を従来のブロック制の枠組みを取り払い、住宅街に集中させたのか

エ 県内の他市町村や市外の業者に機材やオペレーターの応援要請はしなかったのか

(2) 市民への情報の周知方法は一考を要すると思うがどうか

(3) 「全市一斉除排雪の日」をセッティングすべきではなかったのか

(4) 高齢者の一人暮らし世帯などへの雪おろしに、消防団、青年会議所、地区体育協会、ボランティア団体などへ協力要請はしなかったのか

(5) 除排雪対策本部、豪雪対策本部、雪害対策本部、災害対策本部及び雪害警戒対策部のそれぞれの位置づけと役割はどうか、また、そのことが職員に周知徹底されていたのか

(6) (仮称)除排雪基金を創設すべきと思うがどうか

2 本市の経済動向と新年度の予算編成等について

(1) 本市の経済状況をどう分析しているのか、また、今後の見通しはどうか

(2) 国の特別雇用対策の事業内容はどのようなものか、また、市としてどのように活用していくのか

(3) 市民税、固定資産税及び事業所税の17年度決算見込額は幾らか

(4) 新年度の予算編成について

ア 市税収入をどのように分析し、算定したのか

イ 国の新規事業や重点施策の反映について

(ア) 市町村合併推進に対する財政措置の影響について

(イ) 退職手当債への対応について

(ウ) 児童手当の拡充に伴う所要額とその財源について

ウ 豪雪による30数億円の支出は、経常経費や当初予定していた新規事業等に影響はなかったのか

### 3 戦争のない平和な社会の構築に向けて

(1) 土崎港被爆市民会議から若者たちが引き継ごうとしている「平和の集い」に、何らかの支援をすべきと思うかどうか

(2) 小中学生の学習の場に土崎空襲や平和について取り入れているのか

(3) (仮称)北部地域市民サービスセンター、土崎公民館、セリオン、土崎図書館及び土崎駅などのいずれかの施設に、土崎空襲に関する資料の常設展示コーナーを設けるべきと思うかどうか

### 4 人口減少と少子化への対応について

(1) 社会保障費に占める児童・家族関係給付費の割合が3.8%に過ぎないなど、少子化対策について国の予算があまりにも少ないことについて、市長はどのように考えているのか

(2) 当面、若い世代が結婚して子供を生み育てるための財政支援が急務であり、政府税制調査会のメンバーであり、全国市長会の要職にもある市長として、あらゆる機会を通して国に要望すべきと思うかどうか

(3) 秋田市次世代育成支援行動計画について

ア 前期計画に盛り込んだ保育サービスは、三位一体改革による国庫補助金の廃止・縮減の影響は受けないのか

イ 少子化が予想以上に進行していることから、後期計画について大幅な見直しが必要と思うかどうか

(4) 人口減少が予想以上に早まっていることから、秋田市総合計画や秋田市総合都市計画など各種プランの見直しが急務と考えるが、それら

の見直しスケジュールはどのようになっているのか

5 介護保険について

- (1) 在宅介護サービスの強化に対応するため、ケアマネジャーの確保と研修はどうなっているのか
- (2) 複雑な介護報酬の改定について、事業所に対する情報提供や指導はどうなっているのか
- (3) 本市で予定している新年度からの介護保険料は、東北の類似都市や中核市と比較してどうか

6 本市の医療体制について

- (1) 療養病床を介護保険施設へ転換させることについて、どのような対応を考えているのか
- (2) 市立秋田総合病院について
  - ア 医師、看護師の労働条件の改善と救急外来の受け入れについて
  - イ 今回の診療報酬の改定が病院経営にどのような影響を及ぼすのか
- (3) 新型インフルエンザ対策について
  - ア 新型インフルエンザが発生した場合、本市の流行規模はどのくらいになるのか
  - イ 県の新型インフルエンザ対策行動計画を受け、本市の準備はどの程度進んでいるのか
  - ウ 新型インフルエンザが発生した場合の本市の具体的対応はどうか

7 秋田わか杉国体について

- (1) ボランティア募集や市民総参加に対する考え方、取り組み方の現状について
- (2) 宿泊施設の確保について
- (3) 雄和、河辺地域の会場までの輸送方法について
- (4) 全国障害者スポーツ大会に備え、各競技施設及び街中の歩道の段差

解消など、バリアフリー化についてどのように考えているのか

(5) 国体開催を通してスポーツに関心を持ち、スポーツを楽しむような啓蒙活動についてどのように考えているのか

(6) 観光名所の紹介や物産の販売などを実施すべきと思うが、どのように考えているのか

(7) 食中毒の発生を防止するため、宿泊施設や弁当調製業者への指導、対応をどのように考えているのか

(8) 国体局の体制強化について

1 次期行政改革大綱の骨子について

(1) 定員管理の適正化及び職員給与の適正化について

ア 時代にマッチした職員の定員適正化と給与及び手当等の見直しについてどのような検討がなされているのか

(2) 収納率の向上について

ア 収納率の向上を図るため、どのような対策を講じるのか

(3) 歳出の削減について

ア 一つ一つの業務の民間委託ではなく、思い切った総合委託の実施について検討すべきと思うがどうか

(4) P F I手法の導入について

ア P F I手法を導入する場合のメリット及びデメリットについて

イ 今後の導入の可能性について

2 防災及び危機管理対策について

(1) 地震マップを作成しているが、このほかに地図化による減災を進める方法はあるのか

(2) 地震に弱い一般住宅の耐震補強を政策的に推進すべきと思うがどうか

(3) 条例等により市民参加の仕組みをつくるべきと思うがどうか

(4) 国民保護計画は具体的に市民に何を求めるものなのか、また、市民に何を与えるものなのか

3 教育行政について

(1) 県費負担教職員制度について

ア 制度に対する現状と見解について

(2) 学校教育への市民参加に対する所見について

4 安心、安全で元気のある雇用情勢、農業事情及び少子化問題等について

- (1) 雇用状況と企業誘致、農業への姿勢、少子化問題への取り組みにおける、それぞれの考え方、今後の対策及び目標について
- (2) 犯罪や事故防止等のために空き家の対策をどのようにしているのか

5 除排雪問題について

- (1) 排雪には大変な経費を伴うものであるが、今冬の教訓から今後の予算措置について、どう考慮すべきと考えているのか
- (2) 委託業者のレベルアップのための評価制度の検討について
- (3) 除排雪機材の確保に対する今後の対策と予算措置について
- (4) 堆雪場の環境回復について、どのような措置をしていくのか
- (5) 八橋終末処理場での融雪について、その見通しはあるのか
- (6) 合流下水道管を利用して投雪口を設けるマンホール作戦の展開について、早急な取り組みを推進すべきと思うがどうか
- (7) 全市の町内会を対象とした除排雪の説明会を行うべきと思うがどうか

6 大森山動物園の整備について

- (1) 敷地面積の拡大について、どのような構想を持っているのか
- (2) 立地条件により多少の起伏や施設の高低はやむを得ないものと思われるが、今後バリアフリー対策を講じる考えはあるのか、また、冬期間の開園における対策はどのように考えているのか
- (3) 県都の動物園として水族館の要素を加味した施設づくりを目指すべきと思うがどうか
- (4) 動物園の運営について、シンボリックな動物を前面に出してPRしていくのか、あるいはすべての動物を均等にPRしていくのか

7 秋田公立美術工芸短期大学の将来について

(1) 全国的に少子化の進展により18歳人口が年々減少している現状にあ  
って、4年制大学への移行についてどのような考えを持っているのか

## 8 交通事業の廃止について

(1) 秋田市の交通事業として、これまでの検証と今後に期待するバス交  
通について

1 市長の政治姿勢について

(1) 憲法擁護と平和の問題について

ア 市民の命と安全を守るべき自治体の長として、市長は世界に誇るべき憲法、特に第9条を守る立場を明確にすべきと思うがどうか

イ 「環日本海地域をはじめとする海外との経済交流を支援するなど、貿易の振興につとめる」としている本市にとって、アジア特に東アジアをめぐる平和経済共同体づくりの動きは大変注目すべきと思うがどうか

(2) 国民保護計画について

ア 国民保護計画と憲法の国際協調主義や平和主義の基本原則との関係は矛盾したものではないか

イ 国民保護計画で国民が保護される実質的保障はあるのか

ウ 安心・安全どころか、市民を戦争の危険に引き込む国民保護計画関連予算は計上すべきではなかったと思うがどうか

(3) 医療制度改革について

ア 医療保険制度を根本から解体する医療制度改悪に対し、市民の命と健康を守るため反対の意思を明確にすべきと思うがどうか

2 18年度予算案について

(1) 18年度国家予算案について

ア 政府税制調査会委員として、また、市民の暮らしを預かる市長として、定率減税の廃止による増税と今後の医療・社会保障分野での国民大負担増についてどう考えるのか

イ このたびの予算案で一区切りついたとしている三位一体改革についてどう評価しているのか

(2) 本市の18年度予算案について

ア 定率減税の縮減による市民税収入の増加分は市民施策の充実にこ

そ充てるべきであり、制度改定、事業見直しによる市民負担増はやめるべきと思うがどうか

イ 地場産業を基軸にした本格的な産業振興プロジェクトを発足させ、商工費、農林水産業費の増額を図りながらプロジェクトを推進すべきと思うがどうか

### 3 構造改革と第4次秋田市行政改革大綱（原案）について

(1) 構造改革路線を転換し、市民生活を守り、地域社会を発展させる立場で市民と共同し努力すべきと思うがどうか

(2) 社会的格差が拡大している現在、高齢者や低所得者など生活弱者への配慮と市独自のセーフティネットを講ずるべきと思うがどうか

(3) 自治体の公共サービスの持つ「公共性」を踏まえ、国からの押しつけの行政改革はやめるべきと思うがどうか

### 4 農業問題について

(1) 生産と農業経営を発展させるために、小泉「農業改革」に反対し、農産物の価格支持制度を守るよう国に働きかけるべきと思うがどうか

(2) 集落営農の組織化に当たっては、国が示した面積規模や法人化などの条件だけで進めるのではなく、まずは、それぞれの地域の事情や特性に応じた営農グループ等の育成・支援をしていくべきと思うがどうか

(3) 経営安定対策の加入要件に該当しない組織や農家に対し、市独自の対策を講ずるべきと思うがどうか

(4) 農業や地域経済活性化のため、農産加工と販売、地産地消をより積極的に進めるべきと思うがどうか

(5) 点在している荒廃農地の管理について、市が積極的にかかわり指導すべきと思うがどうか

(6) 豪雪によりビニールハウスや農産物などに被害を受けた農家に対し、市独自の直接的な助成策を講ずるべきと思うがどうか

## 5 雪に強いまちづくりについて

- (1) 市民生活に支障を来さないよう、除排雪については市の責任を明確にし、その上で市民に協力を求めるべきと思うがどうか
- (2) 除排雪を一体として行うことを基本にし、生活道路についても除排雪できる体制を確立すべきと思うがどうか
- (3) 職員のパトロール体制を確立し、地域の道路状況などの実情を把握・考慮した上で、業者の適正な配置と指導により地域間のアンバランスのない除排雪をすべきではないか
- (4) 高齢者世帯などが安心して生活できるよう、行政が主体となり除排雪や雪おろし作業を委託できる制度を創設すべきではないか
- (5) 交差点、歩道及び坂道の融雪対策を周辺の環境や状況にあわせて行うべきと思うがどうか

## 6 市立秋田総合病院の医師の確保について

- (1) 医師の確保に積極的に取り組み、患者への不安解消に努めるべきではないか

## 7 地域の諸課題について

- (1) 土崎駅及び追分駅のみどりの窓口廃止について、市民の利便性やバリアフリーの立場でJR東日本に存続の働きかけをすべきではないか
- (2) 土崎環状線の整備に伴って予定されていながら未整備となっている土崎、飯島地区の雨水排水対策を道路整備とは別に早急に実施すべきと思うがどうか

1 行政改革について

(1) 第3次秋田市行政改革大綱の総括と次期行政改革大綱について

ア 次期大綱における改革の視点及び基本的方向性はどうなるのか、  
また、改革の柱となる大きなポイントは何か

イ 現行の行革大綱の進捗状況を踏まえ、次期大綱に持ち越した項目  
は何か、また、社会経済情勢の変化などにより、修正を要する項目  
や新たに取り入れる項目にはどのようなものがあるのか

ウ 「地方公共団体における行政改革の推進のための新たな指針」に  
おける集中改革プランと次期大綱との整合性はとれているのか

エ 現行の行革大綱の進捗状況や成果に関するディスクロージャの推進  
について、どう認識しているのか、また、大綱に関するホームペー  
ジのアクセス件数はどの程度あり、市民の反応をどのようにとらえ、  
どの程度関心を持たれていると認識しているのか、さらに、次期大  
綱の公表についてどのように考えているのか

(2) 財政運営について

ア 現行の行革大綱において財政健全化目標を設定した経常収支比率、  
地方債依存度について、17年度決算における予想数値及び今後の見  
通しはどうか、また、次期大綱における目標数値とその根拠、具体  
的方策についてどう考えているのか

イ 本市の退職者は19年度以降90人前後で推移するとの見込みである  
が、退職手当債を活用する計画はあるのか

ウ 財源確保のための本市における広告ビジネスの実態と今後の考え  
方はどうか

(3) 市民サービスの向上について

ア 各種証明書の自動発行システムにおけるカード発行の状況と自動  
交付機の利用状況はどうか、また、自動交付機の導入により窓口の  
混雑は解消されたのか、さらに、今後の導入についてはどう考えて

いるのか

イ 総合窓口（ワンストップサービス窓口）についてどのように検討し、どのような方針で進めているのか

(4) 組織の見直しについて

ア 新年度新たに設置される「仮称・市勢活性化推進本部」と「仮称・安全安心対策推進本部」について、本部設置の目的、本部の体制と事業内容、現在の部局との関係はどうか

2 高齢者福祉について

(1) 介護保険制度について

ア 新予防給付を有効に機能させるため、軽度な方にも介護保険制度に目を向けてもらうことが重要であるが、どのように啓発していくのか、また、地域支援事業による介護予防サービスも含めサービスの利用促進を図るには、制度の周知とともに参加を促す働きかけが必要であると思うがどうか

イ 制度の改正に伴い、要介護認定はどのようになるのか

ウ 施行後は、各個人の予防給付による効果測定を行い、検証していくことが重要と思うが、どのように行っていくのか

エ 地域包括支援センターの設置について

(ア) 地域包括支援センターと居宅介護支援事業所との関係はどうか

(イ) 地域包括支援センターを希望する事業所は保健師等の確保などクリアしなければならない課題が多いと思うが、どのように対処していくのか

オ これまで、本市においても多額の過誤請求があり、約600万円の返還をしていることについて、指導監督の責任は県にあるとはいえ、保険者である市としてどのように認識しているのか

カ 今後事業者間の競争が激化し、利用者が選択に迷ったり、サービスの質が低下することが懸念されるが、どのように認識しているのか

か

(2) 施設のあり方について

ア 高齢化の急速な進行に伴い、介護保険施設入所希望者が著しく増加することが予想されるが、参酌標準の考え方が変わったことを受け、施設の新設や増設を行っていく考えはあるのか

イ 本市において、認知症高齢者が暮らすグループホームのうち10施設で消防法の違反事例が見つかったが、その後の対応はどうなっているのか、また、今後、高齢者福祉関係施設の防火安全対策の強化をどのように図っていくのか

(3) リバースモーゲージについて

ア 身近な相談相手でもあるケアマネジャーに制度の周知徹底を図るべきではないか

(4) 成年後見制度の活用について

ア 本市において、判断能力が不十分と思われる認知症高齢者を適切に把握する必要があると思うがどうか

イ 制度を普及するためのPRをどのように行っているのか

ウ 認知症高齢者等を守るため、官民協働による「成年後見センター」を立ち上げようとしている自治体もあるが、本市はどのように考えているのか

3 豪雪対策について

(1) 市民への情報提供の重要性について

ア ホームページに掲載された道路の除排雪状況を含む雪に関する情報について、市民の反応はどうだったのか、また、ホームページを利用していない方に対しての情報提供を含め、情報提供の課題と今後のあり方についてどう考えているのか

イ 今後、豪雪だけにかかわらず電気などのライフラインが途絶えた場合の、市民への情報提供についてどう考えているのか

(2) 除排雪業務について

ア 登録業者によって除排雪作業の状況に大きな差があるとの市民からの指摘に対し、どのように認識し対応しているのか、また、作業後の現場確認の方法について検討するとともに、オペレーターの資格検査や技術向上のための研修を行うべきと思うかどうか

イ 今年度、除排雪作業における業務委託単価を距離制から時間制に変更したが、効果はどうであったのか

(3) 雪対策の充実について

ア 防雪柵の設置、または簡易防雪柵の整備拡充が必要ではないか

イ 冬期間の通学路の安全の確保については、過去にどのような検討がなされ、その結果を今回どのように生かしたのか、また、新たな検討課題は何か

ウ 過日、川に捨てられた雪により仁別で浸水被害が出たが、このような予測可能な事態を回避するための対応はどうしていくのか

(4) 行政と市民の連携強化について

ア 除雪モデル地区における市民協働による除排雪の実施結果をどのようにとらえているのか、また、今後どのように生かしていくのか

イ 市民協働のさらなる推進を目指し、市民との対話集会や市民ミーティングなどを通じて、効果的に市の除排雪事業に関する情報提供を行い、市民理解を得ることが重要であると思うかどうか

ウ 市民の防災意識のさらなる啓発と災害時のリーダーシップ発揮のため、自主防災組織のリーダーに対する研修が必要ではないか

エ 豪雪を含めた災害時における高齢者世帯及び障害者世帯への対応について、どのような課題があると認識しているのか、また、こうした世帯に緊急時に対応するためには、町内会長や民生委員、消防団など地域の方々との連携により、日ごろから見守りを行っていくことが必要であると思うかどうか

(5) 臨時堆雪場の復旧について

ア 庁内に臨時堆雪場復旧対策委員会が設置されたが、委員の構成や検討内容はどのようにになっているのか

イ 臨時堆雪場となっている小学校グラウンドについて、新学期の学習活動に支障を来さないように早急に対処すべきと思うがどうか、また、新学期に使用できない場合にはどのような措置をとるのか

#### 4 教育行政について

##### (1) 学校の安全対策の推進について

ア 昨年12月の犯罪対策閣僚会議で、登下校時の児童の安全確保のための緊急対策が報告されたが、こうした国の動きを受け、本市として新年度以降新たに予定している取り組みはあるのか

イ 児童の安全を確保するための活動において、県事業であるスクールガードリーダーをどのように活用し、今後、どのように県との連携を図りながら活動を充実させていくのか

ウ 低学年児童などを一人で下校させず集団下校させるため、空き教室や図書室等を待機場所として利用できないのか

##### (2) 食育の取り組み推進について

ア 現在、学校給食に地場産物が占める割合と、今後の学校給食への地産地消の推進計画はどうなっているのか

イ 食育推進基本計画案には、学校を通じて保護者に対し、栄養に関する知識等の啓発に努めることや、子供の生活リズムを向上させること、家庭教育手帳を配付し活用を図ることが盛り込まれているが、現状と今後の推進についてどう考えているのか

ウ 本市の小中学校の栄養士のうち栄養教諭免許状を取得している栄養士の割合はどうなっているのか、また、今後、食育の推進のためにも栄養教諭をふやすよう県に要望すべきではないか

#### 5 観光振興について

(1) 観光に携わる方が誇りを持って本市をPRしていくよう施策を講ずるべきではないか